

令和3年6月30日

台湾・財団法人中央畜産会との定期情報交換会（web開催）の
概要について

独立行政法人農畜産業振興機構

このたび、独立行政法人農畜産業振興機構（ALIC）は、台湾・財団法人中央畜産会（NAIF）との定期情報交換会をweb会議形式にて開催しました。

本会議は、日本および台湾の畜産をめぐる情勢等について意見交換を行う場として定期的
に開催しており、今回で11回目となります。

1 日 時：令和3年6月24日（木） 14時00分～16時30分

2 出席者：

NAIF 林聰賢（董事長）、陳中興（執行長）、王旭昌（副執行長）ほか

ALIC 佐藤一雄（理事長）、渡辺裕一郎（総括理事）、藤原直（理事）ほか

3 概要：

林董事長と佐藤理事長からの挨拶後、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）
による畜産物の生産、流通及び消費への影響について双方から説明のうえ、意見交換を
行った。

<NAIFからの説明概要>

- ・ 昨年世界は流行初期に検疫を厳格化し、感染者数の増加が抑えられたが、今年5月
初旬から急増。5月19日以降、全土警戒レベルを4段階中の第3段階まで引き上げ
たことにより移動制限や休業要請、休校などの措置が続き、巣ごもり需要が増加。
- ・ 従来、食材は雑貨店等の小型店舗での調達が主流であったが、現在はスーパーマーケ
ット等の大型店舗での一括購入の動きが目立ってきている。
- ・ 自給率の高い台湾産豚肉は、従来型市場での購買が盛んとなり、卸売価格が上昇。家
きん肉も購入量が増加。牛乳・乳製品は、ネット販売や宅配が拡大。鶏卵は、学校給
食や外食等の需要が減少したが、まとめ買い推奨により大型店舗での購入量が増加。
- ・ 政府としては、余剰となった畜産物等について、フードバンクや給食等での利用促進、
台湾内外での販売促進、輸出版路の開拓等の取組に対する支援措置を実施。

また、ALICからも同様のテーマで説明を行い、情報共有と意見交換を行った。

【お問い合わせ先】

調査情報部 山崎・阿南

電話 03-3583-8105